



中村忠行 議員

# 金山杉利活用条例・乾杯条例を

## 回答 関係機関に意見を伺い、考える

金山町の  
ブランドイング戦略は  
中村忠行議員 町のブ  
ランドイング戦略は、  
丹産業課長 ブランド  
イングは、地方創生、  
地域活性化を加速させ  
る必要な活動。これま  
での町のブランドイン  
グは、農林・商工・観  
光部門等で個別に進め  
てきた経緯があり、今  
後、より戦略的にブラ  
ンディングを進めてい  
くためにも町と関係団  
体等が連携し、政策顧  
問の助言もいただきたい  
が、戦略をねりたい。

産・安定供給も重要で  
あり、高齢化や、人口  
減少に合わせたブラン  
ド維持には、どの様な  
対策を行なっているの  
か。  
産業課長 平成29年度  
から地域おこし協力隊  
の方に、金山の農業を  
研修して頂き、後継者  
たる経営を担って頂け  
ればと考えている。ま  
た、高齢者の労働力を  
金山の農業振興、園  
芸振興の裏支えとなる  
労働力としてお願いし  
たい。

発信し町内産品への愛  
着醸成と地産地消の経  
済波及効果の為に、  
「金山杉利活用条例」  
を制定し、ブランド力  
強化に繋げ、あわせて  
「乾杯条例」を制定し、  
町内産品への愛着を涵  
養することを行政の責  
務と位置づけるべきで  
は。  
産業課長 他の市町村

では、地元産木材を利  
活用された場合に補助  
金を交付している。当  
町では、「金山町の風  
景と調和した街並み景  
観条例」において地元  
産材の活用を推進して  
きた。  
今後整備する公共施  
設等の木質化が考えら  
れ、金山産の杉材が使  
用されるよう、金山町  
木質資源利用  
拡大推進委員  
会と協議し、  
「金山杉利活  
用条例」を検  
討したい。

画を見られる様にし、  
遠方に居住の方に聞い  
て頂きたい。また、町  
に関する歌をCDに入  
れ、ふるさと寄付に加  
えたらと考えているが、  
佐藤政策財政監 町の  
HPの観光サイトから  
関連サイトへのリン  
クの手法も考えられ、  
観光協会や芸術文化協  
会と検討していければ  
と思う。また、「金山  
大工の唄」をふるさと  
寄付の返礼品に加える  
ことも可能だが、それ  
を観光振興やPRにと  
いうコンセプトで結  
び付けていくかが議論  
されていないことがあ  
り、実現に至っていな  
い。今後、どういう形  
で取り組んでいくか、  
観光協会や芸術文化協  
会と連携を図りながら  
検討したい。

金山杉利活用条例・  
乾杯条例を  
中村議員 ブランドイ  
ング戦略として、町民  
への町内産品の魅力を



代表ブランド「金山杉」

乾杯条例に  
ついては、町  
内産の酒米生  
産量が増え、  
金山の酒米を  
原料とした日  
本酒があり、  
つや姫を使用  
会と協議し、  
「金山杉利活  
用条例」を検  
討したい。

町に関する歌のPRを  
中村議員 「金山小唄」  
や「金山大工の歌」、「町  
の歌」を町のHPで動

も要望しながら、保護  
者の皆様にお願ひして  
いる現行の給食費負担  
の水準を何とか堅持す  
る中で、理解と共感を  
得られる子育て支援策  
を幅広く検討していく。  
町長 金山町は他の支  
援策の方が他の自治体  
よりも手厚いところも  
ある。お金も掛かるこ  
とであり、他の所と条  
件も違うので、そうい  
う事を総合的に考えて  
取り組んでいく。

# 「活き活きクラブ」への活動支援

## 回答 支援費の増額で応援



須藤典夫 議員

「老人クラブ」への  
支援充実  
須藤典夫議員 活き活  
きクラブ（老人クラブ  
連合会）と議会との意  
見交換会を開催させて  
頂いた。グラウンドゴ  
ルフ、輪投げ、などの  
健康づくり、道路沿い  
の花壇づくりなどの環  
境整備、学校行事への  
参加、地区行事への参  
加、仲間との親睦会旅  
行など活動は多岐にわ  
たっている。今後の支  
援対策は。

五十嵐健康福祉課長  
議員との「意見交換会」  
での各単位クラブの課  
題などを共有化するこ  
とで今後の対策につい  
て検討させていただい  
たい。

た。平成29年度の予算  
で連合会分の増額を考  
えている。また、単位  
団分については、まだ  
不十分なところを平成  
29年度中に検討して、  
平成30年度予算におい  
て増額することで町の  
支援を拡充させていき  
たい。

全国との比較では6.7  
%高い割合で洋式便器  
の整備が進んでいる。  
ただ、有屋小学校や金  
山中学校については洋  
式便器比率が30%を下  
回る状況となっている。  
また、小中学校を除  
く主な公共施設は町内  
においてはトイレ便器  
計233基、うち洋式  
便器188基(80.7  
%)、和式便器45基(1  
9.3%)となっている。  
また、災害時に地  
域の避難所として使用  
される学校施設で、そ  
の際には、児童・生徒  
だけではなく一般の人  
も利用することになる。  
熊本地震の際には、和  
式トイレが空いている  
にも関わらず、洋式ト  
イレに行列ができる場  
面も見られたとのこと  
であり、洋式便器に更  
新していく整備方針が  
全国的な流れとなっ  
ている。

先し、高齢者や身障者  
並びに多くの来町者の  
利便性向上を図るため  
徐々に公共施設からト  
イレの環境改善を図っ  
ていきたい。

無料化が望まれる給食

佐藤総務課長 町内の  
小中学校ではトイレ便  
器が110基、うち洋  
式便器及び和式便器が  
それぞれ55基(50.0  
%)となっている。

洋式トイレの  
増設が必至  
須藤議員 一般家庭で  
の洋式便座の普及が高  
くなってきている。この  
ことを踏まえて、学校、  
公営施設のトイレ事業  
を見直し、洋式トイレ  
の割合を高くして子供  
たちや、お年寄りにも  
利用しやすくしてほし  
い。また、今後期待さ  
れる観光客等へのおも  
てなしの充実を図るこ  
とになると思うが、町  
の考えを伺いたい。

給食費無料化の  
実現は  
須藤議員 昨年3月議  
会定例会一般質問で、  
こども園、小中学校の  
給食費無料化の実現に  
ついて質問した際に、  
教育長は調査、検討を  
すると話  
されたが、  
1年間経  
過し、ど  
のように  
検討がな  
され、ど  
のような  
結果にな  
っている  
のか伺い  
たい。  
須賀教  
育長 今  
後も国に  
対して給  
食費に対  
する支援



無料化が望まれる給食